

# 一高進路便り ～The sky is the limit～

vol.1

平成29年6月13日

文責：進路指導主任 野澤俊英

## ★一高祭を前にして、勉強との両立はできていますか？

前期中間テストが終了して約半月が過ぎました。一高祭を前にして、勉強との両立は出来ているのでしょうか。皆さんが記録した過去3年間の日日新を分析してみたところ、定期試験後は学習時間が少なくなることがはっきりしました。また、特に一高祭を控えた6月は、学習時間が減少する傾向にあることが分かりました。

皆さんは、定期試験が終わった時、どのように思ったのでしょうか。「とてもよく出来た」と振り返ることが出来た人もいると思いますが、残念ながら多くの生徒は、「試験は難しかった」「もう少し頑張らなければならない」といった感想を持ったのではないかと思います。テスト前1週間は部活動がなくなり勉強に没頭できますが、テスト1週間前の学習だけでは、ほとんどの生徒にとって満足する結果を残すことは難しいのです。言い換えれば、テスト前だけでなく、「普段からの授業の予習、復習、そして自分で工夫する演習」がとても重要であることを示しています。テスト前に勉強することは当然ですが、普段から予習、復習、演習に地道に取り組むことが出来るかどうか、実力を伸ばし、成績を向上させるポイントなのです。

私は、昨年難関国公立大学に合格した何名かの卒業生の学習時間を分析してみました。その結果、昨年多くの一高生が6月の勉強時間を減らす中で、難関国公立大学に合格した何名かの先輩達は学習時間をあまり減らしていませんでした。日本中の多くの生徒が学習時間を減らしてしまう学校行事や部活動の大会前に、「いかに地道な努力を継続させることができるか」がとても大切なのです。

一高祭はもちろん価値ある学校行事ですが、一高祭は勉強と両立できてこそ、意味があります。一高祭を意義深いものにするためには、勉強と両立させることが絶対に必要であるということ、ぜひ心に留めて下さい。

## ★日日新、進路シラバスの活用を！

一高では、全校生徒が「日日新」を活用しています。「日日新」は、皆さんの進路実現に向けた「未来につながるパスポート」です。以下の点に気をつけながら、日日新を十二分に活用して下さい。

- (1) 学習量は十分か。
- (2) 生活習慣が安定しているか。  
(起床時間、帰宅時間、学習開始時間、就寝時間が一定になっているか。)
- (3) 部活動終了後、帰宅後など気持ちの切り替えがうまくいかず、時間を無駄にしているか。
- (4) 隙間時間を、十分に利用できているか。

日日新を、毎日の生活を振り返るための資料として活用し、改善点を明日以降の生活につなげられるようにして下さい。

また、4月に各学年別の「進路シラバス」を配布しました。手元にあるのでしょうか。「進路シラバス」は、来月発行予定の「進路のしるべ」にも掲載されます。「進路シラバス」には、各学年毎の進路課題、学習課題、学校行事、進路関係行事、模試とその狙いが掲載されています。ぜひ手元に置いて、活用して下さい。

## ★周りとの比較ではなく、「自分自身との比較」を大切に！

切磋琢磨という言葉があります。たしかに、仲間やライバルと比較して、自分の足りない点や不足している点を自覚し、自分を奮い立たせることは大事かもしれません。しかし、周りの人と比較して、自分のダメな点を再認識して落ち込んでしまったり、コンプレックスをもってしまうことも大変よくあることです。私は、根本的に「周りとの比較」よりも、「自分自身との比較」が大切だと考えています。周りの人がどうかというよりも、自分自身が成長・進歩できているかどうかの方が大切です。「半月前の自分と比べて」「3ヶ月前の自分と比べて」「1年前の自分と比べて」自分自身が成長・進歩できているか比べることに、本当の意味・意義があるのではないのでしょうか。自分自身との比較によって、自身の進歩が実感できれば、実力を養うことが出来るばかりでなく、「自分自身を信じること＝本当の自信」を手に入れることができるはずです。